

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 061	提案機関名 JA神奈川県中央会
要望問題名 新規農業参入者の経営実態調査による経営・技術課題の解明について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年、本県における40才未満の新規就農者数は年70名程度といわれ、就農者の動向として、学卒就農者やUターン就農者ばかりではなく農外からも毎年数名が新たに就農しているといわれております。 しかし、農外就農者については、一般的に学卒及びUターン就農者等と比較しその農業経営基盤は極めて脆弱とされ、経営の継続性・安定性の視点から就農後の経営展開によっては社会的問題の発生も危惧されるところであります。 そのため、当該就農者の経営実態把握を行い、経営部門による経営・技術課題の存在箇所と内容等について把握及び整理することは、今後新規就農者の確保対策とりわけ新規参入希望者に対する適否の判断及び就農後の指導の体制や方法等を検討する際に関係機関が共有しておくべき重要な情報になるものと考えます。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	経営情報研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 新規参入者の評価と定着要件の把握 (H21)			
対応の内容等 御要望の内容については、上記の課題で研究を行っています。新規参入にあたっては、200万円以上の自己資金、主体的な農地や販路の確保、経費の削減の工夫等が共通的に重要な定着要件という知見を得ています。 新規参入は、地域や経験など参入時の諸条件が多様なことから、経営・技術課題を抽出し分析するには、多くの事例を収集する必要があります。 当面の間、農業アカデミーや普及指導組織の事例収集やデータのとりまとめ協力していきます。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			